

8. 雌雄の繁殖戦略：群れの社会構造と関連して

- 雌をめぐる雄間競争：雄の繁殖戦略
 - 性的二型（体の大きさ、犬歯の大きさの雌雄差）は、雄間競争の強さを反映してペア型、複雄群、単雄群の順に大きくなる（図表 6-1）。
 - 精巣の大きさは、精子間競争の強さを反映して複雄群で大きくなる（図表 6-1～4、図表 6-6）
 - ペニスの長さの違いは？（図表 6-5）
 - 複雄群で高順位雄ほど多くの子供を残しているか？（図表 6-7～11）
 - ◇ 結果はまちまち。季節繁殖でない種では同時発情雌の数が少ないため高順位雄による独占が可能！？（図表 6-12）
- 雌による雄のえり好み：雌の繁殖戦略
 - 優位雄を好む？、成熟した雄を好む？新奇な雄を好む？などの報告はあるが、霊長類ではあまりはっきりしていない。
 - 複雌群で高順位雌ほど多くの子供を残しているか？
 - ◇ 専制的な種ではおおむね肯定的（図表 6-13～17）
- 出生時性比の偏り：雌の繁殖戦略
 - トリヴァース・ウィラード仮説：単雄群では、高順位雌は息子を、低順位雌は娘を産みやすい。雄では特に体の大きな雄が繁殖成功が高いため（図表 6-18～20）。
 - 母系複雄群の霊長類では、高順位雌は娘を、低順位雌は息子を産みやすい（図表 6-21）。父系複雄群のクモザルでは、逆（図表 6-23）
 - ◇ 有利な雌 (advantaged daughter) 仮説：雌の順位は家系によって決まるため（図表 6-22）。
 - ◇ 局所的資源競争 (local resource competition) 仮説：雌を生んだら資源を巡って競争が働き、低順位の雌では特に不利なため。
 - しかし、母系複雌群であるカニクイザルやニホンザルでも否定的な結果が出ており、事態は混沌（図表 6-23）。局所的資源競争で収拾は可能か？（図表 6-24）